

図書の窓から

浜田高校図書館
H29.7.21 発行
29-4号



うだるような暑さが続きますね。ところで“クールシェア”という言葉を知っていますか？冷房の稼働台数を少なくするために、冷房の効いた部屋に集まって過ごすことです。図書館は本の保護（※簡単に言えば除湿）のため、日中は過ごしやすい室温に設定してあります。クールシェアのためにも、ぜひ図書館へ！



読書感想文コンクール 課題図書

1・2年生の皆さん、今年も読書感想文コンクールの季節がやって来ました。本はもう選びましたか？今年の課題図書3冊を紹介します。それぞれ、浜高図書館に2冊ずつ入っています。また、課題図書が気に入った人に、さらにおすすめの本を1冊ずつ紹介します。

課題図書① ▶▶ 『フラダン』古内一絵/作、小峰書店 (ジャンル：日本の小説)

舞台は東日本大震災から5年後の福島県。工業高校に通う穰は、強引な女子・詩織に誘われてフラダンス愛好会に入る。女子ばかりだった愛好会に穰たち4人の男子が加わり、男女混合チームとしてフラガールズ甲子園に出場することに。震災でそれぞれの心に負った傷を打ち明けられないまま、フラガールズ甲子園が近づいてくるが…。

★★★★ ★★★★★

東日本大震災当時、小学生だった少女が高校生になった姿を描いています。ちょうど皆さんと同じくらいの年齢ですね。震災を目の当たりにし、子ども心に感じたことはたくさんあったのに、思いを言葉にできないまま高校生になった彼らは、フラダンス愛好会の活動を通してさまざまな人と出会います。その出会いの中で成長し、強く生きて行こうとする姿から、何かを感じ取ってほしいです。

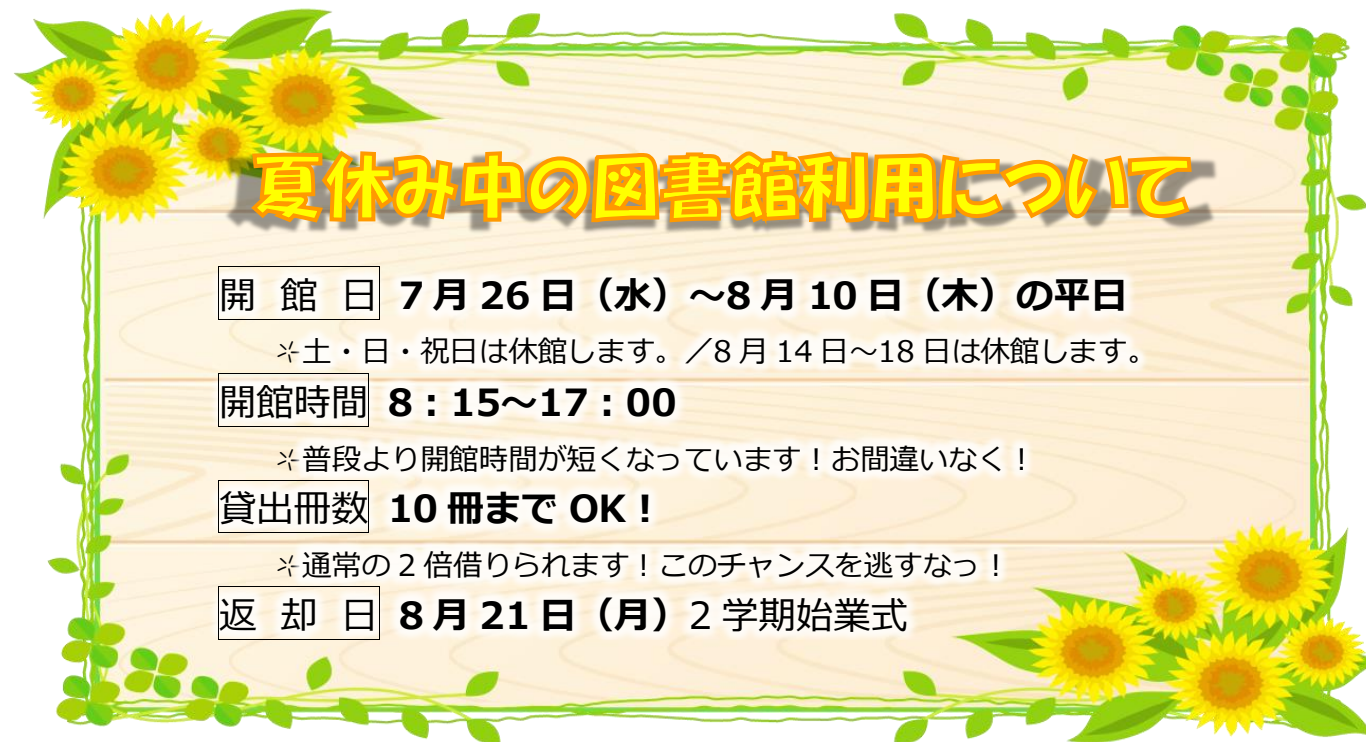


課題図書② ▶▶ 『ストロベリーライフ』荻原浩/著、毎日新聞出版 (ジャンル：日本の小説)

広告代理店を辞めて独立したものの、仕事に恵まれないデザイナーの恵介。そんな中、静岡で農家を営む父が倒れたとの連絡を受ける。父の復帰まで、母を手伝ってイチゴを育てることになった恵介だったが、ずっと農家を継ぎたくなかったし、デザイナーとしての仕事も志半ば…。複雑な思いを抱きながらも、イチゴと、そして農業と向き合う恵介の姿を描く。

★★★★ ★★★★★

私たちは毎日お米や野菜を口にしますが、それらがどのように育てられたのか想像したことがありますか。どんなに大変でも、毎日世話をしなければおいしい農作物は育ちません。凶らずも農業に取り組むことになった恵介の姿を通して、農業について今一度考えなおしてみませんか。



夏休み中の図書館利用について

開館日 7月26日(水)～8月10日(木)の平日

※土・日・祝日は休館します。/8月14日～18日は休館します。

開館時間 8:15～17:00

※普段より開館時間が短くなっています！お間違いなく！

貸出冊数 10冊までOK！

※通常の2倍借りられます！このチャンスを逃すなっ！

返却日 8月21日(月)2学期始業式

課題図書③ ▶▶ 『犬が来る病院 命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと』

大塚敦子/著、KADOKAWA (ジャンル：医療読み物(ノンフィクション))

日本で初めて小児病棟に「セラピー犬」の訪問を受け入れた聖路加国際病院。小さな体で難病と闘う子どもたちは、病院にやってくる犬と触れ合うことで、癒され励まされ、慈しみの心と病気に立ち向かう強さを手に入れていく。

著者が病院を取材する中で出会った、4人の子どもたちの姿を追う。

★★★★ ★★★★★

著者の大塚さんは数年前に聖路加国際病院を取材し、『わたしの病院、犬がくるの』という写真絵本を出版されました。こちらはセラピー犬の活動に焦点を当てた本でしたが、『犬が来る病院』は病氣と闘う子どもの姿を主軸としています。命の尊さと儚さ、かけがえのなさが詰まった1冊です。



『フラダン』が気に入った人は… ⇒ 『16歳の語り部』(雁部那由多/ほか語り部、ポプラ社)もオススメ！
こちら東日本大震災から5年後のお話(ただしノンフィクション)。震災当時、宮城県の小学校に通っていた3人が、高校生になった今、震災の体験と教訓を伝える「語り部」の活動を行っています。当時小学生だったからこそ、今高校生になったからこそ語れる言葉に耳を澄ましてみてください。

『ストロベリーライフ』が気に入った人は… ⇒ 『生きるぼくら』(原田マハ/著、徳間文庫)もオススメ！
いじめを受けてひきこもりになっていた24歳の青年は、母がいなくなったことをきっかけに4年ぶりに外に出る。そして祖母のいる蓼科で、米づくりから大きく人生が変わっていく。そして日本人の主食である「お米」について、考えるきっかけに。

『犬が来る病院』が気に入った人は… ⇒ 『動物翻訳家』(片野ゆか/著、集英社)もオススメ！
私たちが動物とともに生きるためには、動物の心を知ることが大切です。でも、動物の心ってどうやったら分かるの？…動物に常に寄り添い、心の声に耳を傾ける“動物の翻訳家”＝飼育員さんの奮闘を綴った本です。
身近な動物について考えるきっかけとして、同じ著者の『犬部！』もオススメ。

⇒⇒⇒その他、本選びに迷ったら図書館へGO！⇒⇒⇒
喜・怒・哀・楽、さまざま取り揃えております。

【進路・小論文関連】

031『現代用語の基礎知識学習版 2018』**377『業界&職種研究ガイド 2019』**マイナビ出版編集部/編著
376『看護学部・保健医療学部（大学学部調べ）』松井大助/著
498『保健師・養護教諭になるには』鈴木るり子/ほか編著
649『動物看護師になるには』井上こみち/著

【島根県に関する本】

095.6『石見銀山の社会と経済』島根県教育庁文化財課世界遺産室/編
★専門家たちが江戸時代の石見銀山の歴史について新たな知見をまとめた本。

【図書館】

010『死ぬまでに行きたい世界の図書館』★一生に一度は見ておきたい話題の図書館、絶対行きたい世界の有名図書館、美麗すぎる本屋さんなどを紹介。
🌀**017『高校図書館デイズ』**成田康子/著
★学校図書館を訪れる生徒たちは、本を介して司書に自分のことを語り出す。青春と本にまつわるかけがえのない話。

【仏教】

188『親鸞 100の言葉』釈徹宗/監修
★親鸞から100の言葉を抽出し、「内面を見つめる」「救われる喜び」「力強く生きる」などに分類。わかりやすく解釈して紹介。

【日本史】

210.4『日本史のなぞ』大澤真幸/著
★日本史のなぞを足がかりに、中国の易姓革命、イエス・キリストの革命との比較考察を通じて、社会を変える真因に迫る。
210.7『日米の教科書当時の新聞でくらべる太平洋戦争』出版企画開発室/監修
★当時の『朝日新聞』と『ニューヨークタイムズ』、現在の日本とアメリカの教育現場で実際に使われている「歴史教科書」や「資料」の具体的な記述を紹介して解説。

【伝記】

289.1『茶色のシマウマ、世界を変える』石川拓治/著
★日本の教育システムからはみ出した少女が、日本初の全寮制インターナショナル高校をつくったお話。ノンフィクション。
289.3『ホセ・ムヒカと過ごした8日間』くさばよしみ/著
★世界でいちばん貧しい大統領として知られる、前ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカ氏が、2016年4月に来日した際の公式記録。

【地理】

🌀**291『地名の楽しみ』**今尾恵介/著
★由来を辿ればその一つひとつに土地と人の結びつきが見えてくる「地名」。その多彩で豊かな世界を、様々な角度から紹介。

【社会】

304『転換期を生きるきみたちへ』内田樹/編
★世の中の枠組みが変化し、既存の考え方が通用しない歴史の転換期に、中学生に「これだけは伝えたい」という知見を集めたアンソロジー。
309『若者よ、マルクスを読もう』内田樹/著 石川康宏/著
★マルクスを読んだことのない若い人のために、難しいことをかみ砕いて説明し、マルクスのすごさをわかりやすく紹介。

【政治】

314『中学生からの選挙入門』谷隆一/著
★中学生に向けて、選挙がなぜ大事なのか、有権者は選挙とどう向き合っていくべきかを、地方選挙の実例をまじえながら解説。

【法律】

329『EUはどうなるか』村上直久/著
★初めての加盟国離脱に直面しているEUは、今後どこに向かうのだろうか。「等身大のEU」の姿を描き出す。

【経済】

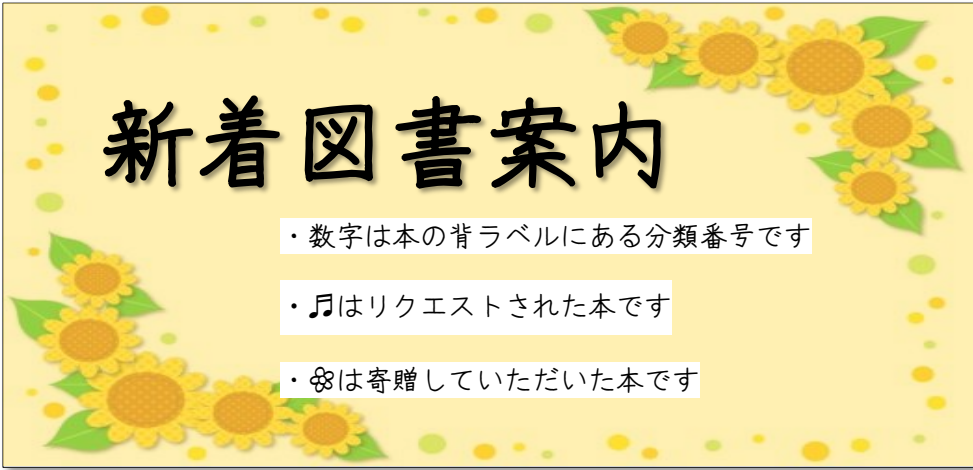
335『前へ!前へ!前へ! 足立区の落ちこぼれが、バングラデシュでおこした奇跡。』税所篤快/著
★足立区の落ちこぼれ高校生だった著者が、バングラデシュの貧しい農村部に同国初の映像教育プログラムを発足。現地の高校生とともに教育革命をめざす。

【社会科学】

367『虐待とDVのなかにいる子どもたちへ』チルドレン・ソサエティ/著
★家庭で暴力を受けたり目撃したりした子どもたちのために作られた本。自分のなかの難しい感情に向き合う方法を伝える。

【教育】

375『そろそろ、部活のこれからを話しませんか』中澤篤史/著
★日本独特の文化である部活に向き合い、部活というものを丸ごと解説し、「部活のこれから」を考える。
🌀**375『未来の科学者との対話 13～15』**
★神奈川大学主催の「全国高校生理科・科



・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・🌙はリクエストされた本です

・🌀は寄贈していただいた本です

学論文大賞」に入賞した研究成果を収録。15巻には浜田高校自然科学部のハッチョウトンボの研究が載っています。

【数学】

410『数学まちがい大全集』アルフレッド・S.ポザマンティエ/著
★古今東西のありとあらゆる数学のまちがいを取り上げ、「どこがまちがいか」「なぜまちがえたのか」を解き明かす。

【地学】

🌀**454『日本列島 100 万年史』**山崎晴雄/著 久保純子/著
★現在、私たちが目にする風景を主に形作った100万年前以降(第四紀後半)を中心に、複雑な地形に富んだ列島の成り立ちを解き明かす。

457『楽しい動物化石』土屋健/著
★太古の時代、世にも不思議な生きものがいた。“動物化石”入門の決定版。
457『楽しい植物化石』土屋健/著
★緑の地球へと移り変わっていった歴史が刻まれている植物化石 68点を写真で紹介し、解説する。化石採集の基本も掲載。

【動物】

480『だらだら動物図鑑』
★人生、だらけて、がんばる、くらいが、ちよūdいい-。ちょっと笑えるリラックスした動物たちの写真が満載。

【医療・栄養】

🌀**493『消えたい 虐待された人の生き方から知る心の幸せ』**高橋和巳/著

★元「被虐待児」たちの生き方をたどり、その証言を聞きながら、人の存在のあり方を照らし出す。

493『脱ネット・スマホ中毒』遠藤美季/著

★中学生に広がる携帯・スマホ依存、パートナー間のネット依存、オンラインゲーム依存…。なぜハマるのか、どうすれば抜け出せるのかを会話形式で解説する。
498『最強の地域医療』村上智彦/著
★医師であり患者である立場から医療の問題点や、高齢者医療、地方が抱えている医療問題の解決策などを語る。

498『未来のために学ぶ四大公害病』除本理史/監修

★水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくについて、どのような病気を説明し、今とこれからを考察する。
498.5『カリカリベーコンはどうして美味しいにおいな?』
★食べ物や飲み物にまつわる奇妙で面白い話をとりあげ、それらのもとになる化学をわかりやすくシンプルに説明する。

【工業】

589『虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡』小松成美/著
★業界トップシェアを成し遂げたチョーク工場「日本理化学工業」は、社員の7割が知的障がい者。この会社が“日本でいちばん大切にしたい会社”と呼ばれる理由とは。

【美術】

720『迷宮美術館』NHK『迷宮美術館』制作チーム/著

＊ ～シリーズ続編入りました～ ＊

913『玉依姫（八咫烏シリーズ 5）』阿部智里/著

913『真夜中のパン屋さん 6』大沼紀子/著

913『遺跡発掘師は笑わない 6』桑原水菜/著

913『人類最強のときめき』西尾維新/著

913『『悩み部』の平和と、その限界。』麻希一樹/著

913『5分後に思わず涙。』桃戸ハル/編著

913『陰陽師 螢火ノ巻』夢枕獯/著

★名画に秘められた謎や不思議、画家の人生に隠された真相にスポットを当てて紹介。
721『かわいい絵巻』上野友愛/ほか著
★「かわいい」をキーワードに、絵巻鑑賞の本当の面白さを紹介。
721『かわいい浮世絵』日野原健司/著
★さまざまな「かわいい」浮世絵を厳選して紹介。
725『色鉛筆リアル画超入門』林亮太/著
★油性色鉛筆で風景画を描く手順を解説した入門書。

【マンガ】

726『全解絵でよむ古事記 上巻』柿田徹/絵
★柿田徹さんは浜田高校の卒業生。日本最古の物語「古事記」を漫画化。

【書道】

728『書のひみつ』古賀弘幸/著

★王羲之から良寛まで、書のいろいろな見方、面白がり方を幅広く紹介する。

【芸能】

773『能面の見かた』小林真理/編著
★能の全体を探りつつ、能面をわかりやすく解説した入門書。図説「能面の見分けかた」、能面の制作工程等も掲載。
🌀**779『社会人大学人見知り学部卒業見込』**若林正恭/著
★“人見知り芸人”・オードリーの若林正恭が、30歳を過ぎてから社会への参加方法を模索した経験を綴る。

【スポーツ】

783.2『部活で差がつく!勝つバレーボール上達のポイント 60』小川良樹/監修
★バレーボール部で活躍するためのポイントを豊富な写真とともに紹介。

【短歌】

911.1『和歌のルール』渡部泰明/編
★高校の教科書に載っている作品を中心に和歌の魅力を味わうのに十分な10のルールを選び、わかりやすく解説する。

【日本の古典】

913.3『宇治の結び 源氏物語 上・下』荻原規子/著
★宇治の地でくりひろげられるドラマチックな恋のいきさつ。「宇治十帖」と呼ばれる「源氏物語」の源氏没後のお話を訳出。

【日本の小説】

913『アキラとあきら』池井戸潤/著
★片や零細工場の息子。片や大手海運会社

の御曹司。ふたりのアキラが出会い、それぞれの人生が交差したとき、かつてない試練が降りかかる。
🌀**913『青の数学 1・2』**王城夕紀/著
★数学オリンピックを2年連続で制した天才少女・京香凜。彼女との出会いから、栢山の高校生活は始まった。
🌀**913『いなくなれ、群青』**河野裕/著
★謎の島・階段島になぜか来てしまった僕。そこでかつての同級生・真辺由宇と、あるはずのない再会を果たす。
🌀**913『余命 10年』**小坂流加/著
★20歳の茉莉は不治の病にたおれ、余命10年であることを知る。諦めから死への恐怖は薄れ、淡々とした日々を過ごす…。
🌀**913『君は月夜に光り輝く』**佐野徹夜/著

★大切な人の死からどこかなげやりに生きている僕は、余命わずかな「発光病」の少女まみずと出会う。
🌀**913『その日東京駅五時二十五分発』**西川美和/著
★終戦当日、焼け野原の東京から故郷広島に向かう「ぼく」。滅亡と虚無の淵で19歳の通信兵が眺めたこの国とは？

【日本のエッセイ・手記】

🌀**914『今日も一日きみを見てた』**角田光代/著
★ひよんなことから角田家にやってきたアメショーのトトとの暮らしを綴る。
🌀**914『ご本,出しときますね?』**若林正恭/著
★小説家は普段何を考え、どうやって作品を生み出しているのか。オードリー若林正恭と作家たちが“自分のルール”を語る。
916『うつヌケ うつトンネルを抜けた人たち』田中圭一/著
★著者自身のうつ病脱出体験をベースに、うつ病からの脱出に成功した人たちをレポート。化学の大谷先生オススメ。

【外国の小説】

933『メアリと魔女の花』メアリー・スチュアート/著
★夏休みを田舎で暮らすことになったメアリは、7年に1度しか咲かない花“夜間飛行”を見つける。そしてメアリは魔女の学校へと連れて行かれ…。
943『デーミアン』ヘッセ/著
★転校してきたデーミアンと仲良くなったエーミール。デーミアンの謎めいた人柄と思想に影響されたエーミールは、やがて真の自己を求めて深く苦悩する。